キャラクター名: 夕凪　達巳

プレイヤー名:

シンドローム	キュマイラ ブラックドッグ	ワークス	UGN支部長A	カヴァー	カフェ店主
オプショナル		年齢	41歳	性別	男
覚醒	感染	衝動	飢餓	初期侵食率	32 %
出自	天涯孤独	経験	仲間の死	邂逅	ビジネス

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	5	1	0			6
感覚	1	0	0			1
精神	1	0	0			1
社会	1	0	0			1

HP	33
行動値	3
(非装備時)	3
戦闘移動	8
全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	6		射撃			ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	2	
運転：	2		芸術：			知識：			情報：UGN	4	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
刀	白兵	6r+6	3	10		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
ウェポンケース	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
遺産継承者	P	N		
夕凪　美咲	P　純愛	N　悔悟		
神城　早月	P　感服	N 劣等感		
マラコーダ	P　執着	N　憎悪		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:キュマ	2	2	メジャー			指定シンドローム		
効果：	C値-Lv							
完全獣化	4	6	マイナー	至近	自身	自動		
効果：	肉体を使用したあらゆる判定に+Lv+2する。							
知性ある獣	1	2	マイナー	至近	自身	自動		
効果：	獣化中のアイテム使用可能							
獣の力	1	2	メジャー	武器		白兵		
効果：	攻撃力+Lv×2							
復讐の刃	3	6	オート	至近	単体	白兵		
効果：リアクションを放棄する事で対象に白兵攻撃を行う。組み合わせた判定のC値を-Lv(下限7)する。対象はリアクションを行えない。								
報復の牙	1	4	オート	至近	単体	自動	リミット	
効果：あなた以外の対象に攻撃が行われた時に使用する。その攻撃の対象をあなたに変更し、復讐の刃を使用する。復讐の刃が使用出来ない攻撃に対してはこのエフェクトを使用出来ない。シナリオ1回								
クイックダッシュ	1	4	セットアップ	至近	自身	自動		
効果：	戦闘移動を行う。シナリオLv回							
鋭敏感覚	★							
効果：								
海の恩恵	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

夕凪　達巳
オーヴァード
シンドローム:キュマイラ/ブラックドッグ
旧姓:尾張
不慮の事故により、巳上市に神器として祀られていた蛇鱗の鏡の破片を体内に取り込んだことが原因でオーヴァードに覚醒。(当時13歳)
覚醒後はUGNに所属、エージェントとして任務をこなす。
任務の都合により、かつてUGN支部の存在しなかった西彩市を訪れる。(当時18歳)
そこでUGNに似た活動をしていた夕凪家と遭遇し、そこの一人娘であった“裂蛇の舞姫”夕凪美咲と交流を持つようになった。
地主でもあった夕凪家との交流もあったことにより西彩支部を設立する際に支部長に任命された。(当時19歳)
支部長任命から2年後、夕凪美咲と結婚し夕凪家に婿養子として迎えられた。
その後も支部長として仕事をこなすなか、第一子(PC2)が誕生。(当時24歳)
幼いうちにオーヴァードであることが判明しRCの訓練を受ける。
マレブランケ殲滅任務において、支部員の半数以上を失った。(当時31歳)
任務には成功したものの、これにより外部の一部の人間からは死神支部長などと呼ばれている。
上記の事件の死者の中には妻であった夕凪美咲も含まれていた。
その後、美咲を失った悲しさを埋めるかのようにUGNに保護されていた少女(棗)を引き取る。
彼の主な戦闘スタイルは、体内に取り込んだ欠片を核とし展開する外殻を利用した白兵戦闘。
美咲の死後は、その遺品である刀を使用するようになった。
この刀は夕凪家に伝わる5本の妖刀の一振とされており、夕凪美咲の使用時はあらゆる魔を破る刀として当時討伐不可能とされていたジャームを倒すなど、猛威を奮っていたが、美咲の死後、一切そのカラしきものが感じられなくなったため、研究員の中では夕凪家固有の刀を媒介としたエフェクトだったのではないかと結論づけられた。